## 意見発表

北海道今金町長
# 外崎秀人
全国道路利用者会議 常任理事

本会議がスタートいたしました昭和24年生まれの北海道今金町長の外崎と申します。令和元年を迎えて新たな活動しようということと自分なりに認識をし、お時間をいただきましたのでお話をさせていただきます。

知事や市町村長は、自治体道路の管理者でもあります。私も小さな町でありますが延長350㌔の町道を管理しております。住民懇談会の意見・要望の約8割は道路舗装、補修、改修、安全施設に関わる道路事案であります。それだけ生活に直結した道路への関心が高いということが伺えます。

また、冬期間の大半は除雪対象道路となり、特に北海道は軟弱地盤地域がほとんどで、路面凍結が道路の劣化に拍車をかけ、毎年多額の経費がかかるという悪循環に陥っております。例えば、老朽化した1㌔の道路改良事業は、年に80㍍から100㍍の予算しかつかない状況です。7、8年もかかるということになるわけであります。国あるいは都道府県の厳しい情勢は理解するものの、維持管理費や交付金の増額確保を望むところであります。それでもこの数年間で事業要望の採択が約40%台から31年度は60%台までに復活されているところがあります。とてもありがたく感じております。

地方自治体の首長としましては、地域住民の道路整備への関心度がとても高く、その道路整備を優先したいことがあるわけであります。ご存知のように道路は繋がっており、市町村道は共有施設であります。産業道路等の役割を生かせないということでは、北海道の町の、地域の存亡にかかわることから、高速交通体系のネットワークの整備が求められることになるわけであります。

例えば、函館～根室間の高速道路はまだ繋がっておりません。666㌔で、10時間以上かかります。青森～東京間は736㌔で、函館～根室間より70㌔長いのですが、所要時間は8時間であります。北海道の高速道路は計画の64%の開通率であります。未着工区間は全国が約3・7%に対し、北海道は23・2%と整備率はとても低くなるわけであります。加えて高速道路の大半は片側一車線で、制限速度も70㌔と、整備が遅れております。高速道路の良さが生かされてないという声はとても多くあります。制限速度の引上げは、燃料の消費や運転手の負担軽減にも結びつく重要な課題であります。残念な話でありますが、急ぐ時は一般道路を走っても同じであるという声も少なくないわけであります。

また、長距離による高額な利用料金、制限速度、片側一車線等の高速道路事情により、大型車両が一般国道を走行することから、北海道における交通事故多発の要因になっているとも思えてなりません。まだまだ道路整備や規制緩和、大型車両、事業者の車両に対する配慮など課題が多いことから対策を早急に講じる必要を提言いたします。

もう一点、道路整備の要望におきまして、最優先の要望として救急救命体制のために農地の道の整備を、そういう声を高らかに訴えておりますことは周知の事実であります。自分自身のことでありますが、少しの期間ですがトラックドライバーとして、北海道から遠くは岡山、富山等、様々な道路を走りました。道路利用者の立場で、道路の重要性やありがたさ、どういう道路の整備が必要なのかも若い時から感じてまいりました。昭和40年代の後半でありますが、東北自動車道も1割も満たない整備でありました。青森～東京間は、20時間以上かかりました。今は8時間前後という信じられない高速化であります。

さらに、そうとう前のデータでありますが、高速道路の事故率は、他の道路の1／3、負傷者の事故は1／8という数字があります。運転する者としては、一般国道を走るよりも事故発生が少なく、燃費も安く、安全性の高い、高速道路走りたいという想いを身を持って感じてきているとこであります。自動車の視点、運転者の視点からしますと、大きな社会問題となっている渋滞を避けたいということですし、年間約50億人時間、約280万人の労働力に匹敵するというデータもあり、大型車両や事業者の車両においては、高速道路を利用していただくための、より高い優遇制度の構築に向けて取り組んでいただくことを提言いたします。より一層、高速道路等の道路整備予算に皆様と共に取り組んで参りたいと考えております。

最後になりますが、要望活動にあたっての提案であります。最早「必要です」「お願いします」ということだけでは説得力が弱く、予算確保には繋がりません。道路整備でどう変わるか・変わったか、そういうものを数字やデータ等の根拠を持って、また新しい情報・手段を使うなど様々な手法で伝えることが考えられます。さらにインフラ効果はもとより経済効果の関連資料を数値として、データで示しその全てが国の税収確保につながるというフロー効果を予算調整の所管である財務省にしっかりと、皆さんとともに伝えることが必要ではないでしょうか。組織を上げ皆さんとともに、ひと工夫もふた工夫もして、総額確保に向け行動することを提言し意見発表とさせていただきます。

## 抵抗

5月8日（水）、滋賀県大津市の交差点で、散歩中の保育園児の列に車が突っ込む事故が起きた。また、その1週間後の15日には、千葉県市原市の公園に車が突っ込み、遊んでいた園児をかばおうとした保育士が骨折する事故が起きた。令和になって痛ましい事故が続いている。特に大津市の事故は、関係者のみならず多くの人に強い衝撃と深い悲しみを与え、マスコミも連日大きく取り上げていた。事故は県道交差点で、右折しようとしていた乗用車と、直進してきた軽乗用車が接触した弾みで、乗用車が歩道に突っ込み、園児2人が死亡、1人が重体、園児と保育士計13人が重軽傷を負ったものである。この事故をきっかけに、地域特有とされる危険な運転が注目を集めている。①松本走り②茨城ダッシュ③伊予の早曲がり④山形ルール⑤名古屋走り、とこうした危険運転の殆どが右折時のものである。新聞、テレビ等で既にご存じかもしれないが、改めて触れることとしたい。

### ドライバーはマナーと モラルを意識して!!

「松本走り」とは、対向車が左折する隙を見て、ほぼ同時に右折するものであり、これは、旧城下町の松本市は片側1車線の道路が多く、右折しようとすると渋滞になり、後続車に迷惑をかけないように早く右折する意識が強いのではないか、との長野県警の談。

「茨城ダッシュ」と「伊予の早曲がり」は、その名の通り、青信号に変わった直後に急発進し、対向直進の先頭車より先に右折するというものである。

また、「山形ルール」も対向直進車のすきをついて右折するというもので、横断歩行者がいても一時停止しないこともあり、重大事故に繋がる危険な運転である。

16年連続で交通事故死者数が全国ワーストの愛知県では、ウインカーなしの車線変更や信号無視、無理な割り込みなどの危険運転を「名古屋走り」と呼んでいる。これは、自動車保有台数が全国最多で、道幅が広く車線も多いことから「名古屋走り」が誘発しているとみられている。こうしたご当地危険運転ばかりか、近年では、あおり運転やながらスマホ運転といった危険な運転による事故が後を絶たず社会問題となっている。

道路管理者は、通学路、通園路を重点とした歩道の確保やガードレールの設置、車両速度の抑制するためのハンプの設置や通過交通の侵入を抑制するライジングボラードの設置等生活道路の安全対策を推し進めているが、併せて、我々ドライバーの意識を変えていかなければならない。確かに、人間の意識というものは一朝一夕には変わるものではないが、地道な啓発活動を展開することによって、ドライバーのモラルが向上されることを切に願うものである。

復興道路

令和元年6月22日（土）開通予定

## 三陸沿岸道路 釜石北IC～大槌IC

～宮城県気仙沼市～岩手県宮古市間が復興道路でつながる～

国土交通省が整備を進めてきた三陸沿岸道路（釜石北IC～大槌IC）が令和元年6月22日（土）に開通する。

**【開通日】**
令和元年6月22日（土）

**【開通区間】**
三陸沿岸道路（釜石北IC～大槌IC）／4・8㌔

**【開通による整備効果】**

**◇地域産業の振興を支援**
水産資源が豊富な三陸沿岸地域では、水産物や加工品の輸送で三陸沿岸道路を利用している。

今回の開通により、輸送時間短縮による品質保持や輸送効率の更なる向上が期待され、地域産業の復興を支援する。

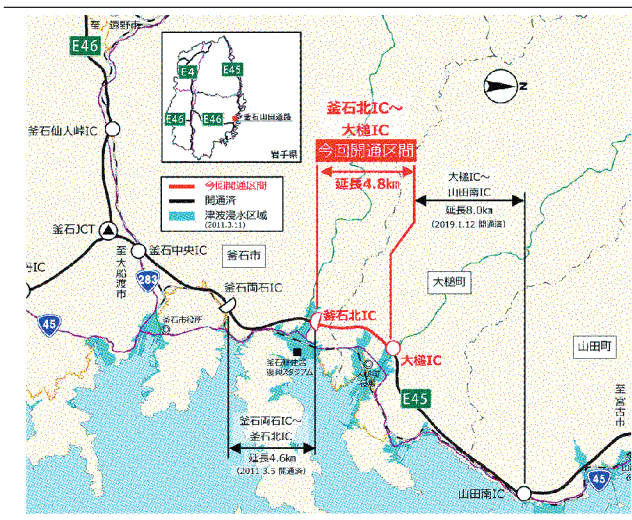
**◇広域観光の振興を支援**
三陸沿岸地域は、三陸復興国立公園、三陸ジオパークなど、魅力的な観光資源が数多く点在している。

今回の開通による周遊性の更なる向上で、沿岸地域をはじめとした広域観光の振興を支援する。

**◇ラグビーワールドカップ2019TM釜石開催を支援**
本年9月に「ラグビーワールドカップ2019TM」が東北では唯一釜石市において開催される。

今回の開通による交通の転換により、スタジアムまでの輸送経路となる国道45号の交通円滑化が図られ、大会の成功を支援する。

**◇強靭で信頼性の高い高速ネットワークを形成**
東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が流出し、多くの箇所で通行止めが発生した。




国土交通省では、「道路ふれあい月間」における活動の一環として、昭和41年から毎年「道路ふれあい月間」推進標語を募集している。本年は全国から4，704作品の応募があり、三好礼子委員（エッセイスト、元国際ラリースト）、やすみりえ委員（川柳作家、文化庁文化審議会委員）、吉岡耀子委員（交通・環境ジャーナリスト）による選考が行われ、「小学生の部」「中学生の部」「一般の部」の部門毎に最優秀賞1作品ずつと優秀賞2作品ずつの計9作品を決定した。

令和元年度
「道路ふれあい月間」
推進標語入選作品決定

**この道は　世界につづく　ゆめとびら**

気仙沼市～宮古市間の道路ネットワーク完成で、「くしの歯作戦」当時より更に信頼性、確実性、速達性のある災害時の支援が可能となる。

**○最優秀賞**

**【小学生の部】**
**「この道は　世界につづく　ゆめとびら」**
荒木瑛登さん（神奈川県）

**【中学生の部】**
**「真っ白な　地図に描こう　マイロード」**
西川結菜さん（愛媛県）

**【一般の部】**
**「ふるさとの　未来を託す　道がある」**
梶　政幸さん（千葉県）

**○優秀賞**

**【小学生の部】**
**「大すきな　みんなの声が　ひびく道」**
井手心々さん（宮崎県）
**「歩くたび　ちがう景色が　みえる道」**
福島　勝さん（埼玉県）

**【中学生の部】**
**「青春を　刻んで歩む　今日の道」**
落合　虹さん（山形県）
**「分かれ道　今日の私は　迷わない」**
片江　葵さん（佐賀県）

**【一般の部】**
**「守りたい　大事な人と　歩く道」**
品川香穂さん（神奈川県）
**「新しい　時代の風を　運ぶ道」**
中静憲夫さん（新潟県）

詳細は国土交通省のホームページで　http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001173.html

## 高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

**【工事通行止め】**
**◇新名神高速道路**　八幡京田辺IC
7月2日（火）～7月3日（水）　各日22:00～6:00
7月17日（水）～7月19日（金）　各日22:00～6:00
**◇東海環状自動車道**　関広見IC～土岐南多治見IC
7月1日（月）～7月9日（火）　各日20:00～6:00
**◇尾道自動車道**　世羅IC～山陽自動車道　尾道JCT
7月8日（月）～7月11日（木）　各日21:00～6:00

**【交通規制】**
**◇G20大阪サミット2019開催に伴う通行禁止・交通規制**
6月27日（木）～6月30日（日）
※詳細はWebで。https://www.hanshin-exp.co.jp/